

## 待ちに待った新米の季節

### 白石産ササニシキ収穫



1\_ササニシキの稲を刈る木須さん 2\_くいと棒で稲を掛ける土台づくり 3\_昔ながらの方法を体験する白石高校生

9月16日、福岡長袋地区で栽培されたササニシキが収穫の時期を迎え、稲刈り作業が行われました。本市では、平成元年に食味日本一に輝いた「白石産ササニシキ」を復活させブランド化に結びつけようと、市内の生産者9人が復活プロジェクトに取り組んでいます。

この日は、プロジェクトメンバーの木須敏文さんの圃場で稲刈りが行われ、地域おこし協力隊の竹田祐博さんと、ササニシキを活用した地域活性化を目指す白石高校の生徒11人も参加。刈り取った稲を運び、自然乾燥させるための棒掛けなどを手伝いました。

木須さんは「天候が悪い日が続き心配していましたが、品質はこれまでで一番いいですね。おいしいササニシキをお届けできると思います」と満足そうに話してくれました。

新米の白石産ササニシキは、10月上旬ごろからおもしろい市場などで販売されます。

## 日本の伝統文化を守り継ぎます

### 着楽塾「ひとりでもできる前結び講座」

9月17日、着物の愛好者でつくる団体「着楽塾」の着付け講座が、中央公民館で開催されました。12回目となる今回は、自分一人でもできる華やかな結び方を、それぞれが持ち寄った帯で練習し、出来栄を楽しんでいました。

同塾では、毎年10月に着物イベント「白石城下きものまつり」に参加していましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止に。代表の佐藤昌子さんは「来年の開催に向けて練習を重ねていきます」と話してくれました。



▲着物をおしゃれに着て楽しめます

## 体を動かして健康を維持

### ノルディックウォーキング教室

9月14日、運動不足の解消や生活習慣病の予防に役立つノルディックウォーキング教室を開催しました。ポールを手に歩くノルディックウォーキングは、通常のウォーキングと比べて体の負担が少なく、全身運動による高い効果が期待されています。この日は10人が参加し、座学やストレッチの後、ポールを手に白石城周辺の堀沿いや坂道を歩きました。参加者は「楽しく歩けました、機会があればまたやってみたいです」と話してくれました。



▲ポールを手にウォーキングする参加者

## 楽しく・仲良く交流

### 第二小学校・角田支援学校交流会

9月11日、白石第二小学校で角田支援学校白石校との交流学习会が行われました。これは3年生の総合的な学習の時間で「福祉」をテーマにした学習として実施したもので、この日は支援学校から8人の児童が3年1組の児童と体育館で交流をしました。

学習交流会ではボールを使ったゲームと釣りゲームを行いました。実施したゲームは、事前に第二小学校の児童が角田支援学校の先生による出前授業を受け、角田支援学校の児童が得意な事や苦手な事を学び、自分たちで学習会で行う内容を考え実施したものです。

学習交流会では、どちらのゲームでも支援学校の児童に優しく教えながら一緒にゲームを進める第二小学校の児童の姿が見られ、参加した第二小学校の児童からは「自分たちで準備したゲームで楽しく遊んでもらえて楽しかった」と話してくれました。



1\_ゲームをしながらの楽しく交流 2\_釣りざおも魚もすべて手作り、釣った魚は持ち帰ってもらいました

## アート作品づくりを体験

### ストーンアート体験会

9月15日、石彫家で地域おこし協力隊の能城智園さんを講師に迎えた「ストーンアート体験会」が、あしたば白石で開催されました。10cmほどの石にアクリル製の絵の具で色を塗るアート作品づくりが行われ、参加者8人は、カラフルな模様や思い思いの絵を楽しみながら描いていきました。

参加者は「石を見ていたらいろいろな発想が湧いてきて、とても楽しく描けました」と話していました。



▲6色の絵の具を組み合わせるイメージを形に